

●2019年4月JPA定例セミナーのご案内

伝える力を手に入れる YouTube 活用術

現役TVディレクターがノウハウを解説！
～動画の活用であなたの“強み”を活かす方法～

日時：4月6日土曜日 13時～16時
受講料：JPA会員 2,000円 / 非会員 3,000円

動画を活用すると、あなたの人柄と情熱を、名刺よりも饒舌に伝えることができます。

あなたのビジョンを、日本中、世界中の人々へと伝えることができます。

ビジネスシーンでの数々の応用例・成功例とともに、YouTubeの2019年の状況の分析、簡単な動画のはじめかたまで動画がもたらす無限の可能性をお伝えします。

詳しい内容とお申し込みは[こちら](#)からどうぞ。

●理事長からのプレゼント

学習は裏切らない (楽しみながらお金を稼ぐには学習するに限る)

高野 文夫 NPO日本プレゼンテーション協会理事長

はじめに

これからの時代の中で、知識や技術はどんどん革新されてゆきます。

従来の知識や技術がたちまち陳腐化し、内容が著しく高度化してゆきます。

知識や技術のライフサイクルがますます短くなっています。

われわれはこういうことに十分適応していかなければならない。

さまざまな変化に適合するために、われわれは職場や組織のメンバー全員で知識の共有化を

はからなければならない。共有化のためにメンバー相互で十分なコミュニケーションを行うことが必要です。

相互に教えあい、学びあうことを日常的なシクミとして考え、その中でお互いに働きかけあい、実践しあうことが大切です。

1. 知識や技術の短いライフサイクルへの対処法

職場、組織は学習する機能を持てばよいのです。

かつてのわが国の帝国陸軍、海軍は学習組織で

はなかった、組織学習ができていなかったといわれています。

組織の全ての階層において、的確な情報収集ができていなかったのです。だから情報の共有化もできていない。状況の変化に対応するための、新しい知識、技術の開発や、それらについての学習もできていなかった。

過去から引き継いできた教条的な戦術論の教育訓練だけが、繰り返しなされているだけだったのです。これに対して当時のアメリカ軍は、組織学習ができていたという。

その他にも、さまざまな大きな要因はあるが、それゆえ日本軍は、大東亜戦争に敗れたというのです。われわれが現在、勤務している職場、組織を、かつての帝国陸海軍のようにしてはならない。

組織の中のそれぞれのレベルで、ダイナミックに学習しあう状態を作りだしていくことが大切なのです。そのために管理者やリーダーが、率先してすばらしい講義、インストラクションできること能力が求められています。

そして部下後輩たちにもこのような機会を、どしどし与えるのです。このような努力を通じて、職場、組織をこの厳しい経営環境の中で生き抜くことのできる状態に変革できるはずなのです。

2. 教え方の技術を持たなければいけない

人は人を動かして初めて有用な人となるのです。

そしてリーダーになって勝ち組に入る為には、『教え方の極意』を取得する事です。そして人を動かせる人間になる為にはまずは自分づくりです。

私は毎週土曜か日曜の朝、早く起きて家の近くの何軒かの行きつけの喫茶店でモーニングナレッジというのを楽しんでいます。それは一週間に取得した新しい知識（ナレッジ）や生きるのに役立つ哲学（思い）の整理です。そして次週の計画です。

あくまでも遊びの心で楽しみながらやっています。今楽しみながら効率的な生き方をする方法としてAL (Action Learning)が流行っています。アクションラーニングとは正しい的確な問いかけをして、他の者を建設的な方向へ導くコーチング手法なのです。

私は、他人や部下に対してではなく、ご自分でご自分に問いかけをして、思いや遣り方を整理して日々を生きてゆく方法を考え出しました。

おわりに

「サンデーナレッジ」なる手法のお勧め

『モーニングナレッジ』あるいは『サンデーナレッジ』という手法をお勧めします。私の周りには、その手法を実践して大変な成功人生を送られている友人が何人もおります。

そして代表的な二人がいます。お一人は、人間性の素晴らしさはもとより、収入で弁護士業界国内トップ10に入っている有名なカリスマ弁護士T氏です。もう一人の方は、国内トップの損害保険会社の専務取締役、定年後の今は独立してエグゼグティブコーチとして多くの顧客を援助しています。

何しろ、彼らは楽しみながら素晴らしい成功

人生を歩んでおられるのです。

成功の理由は、生きる哲学と他人に教える技術を持っておられる事と、何しろ効率・効果的に毎日生きる方法論を身に付けておられるのです。

世の中の大半の人達は、過去を振り返ったり、定期的に整理したりして前に進まないから、失敗の繰り返りで、忙しくて、忙しくてどうしようもないハツカネズミの様な人生を繰り返しています。要するに「馬鹿の繰り返し」をやっているのです。

あるいは逆で、世の中の誰にも相手にされずに、暇を持て余し、パラサイト（乞食の様に誰かにすがって生きています。）人生を余儀なくされています。

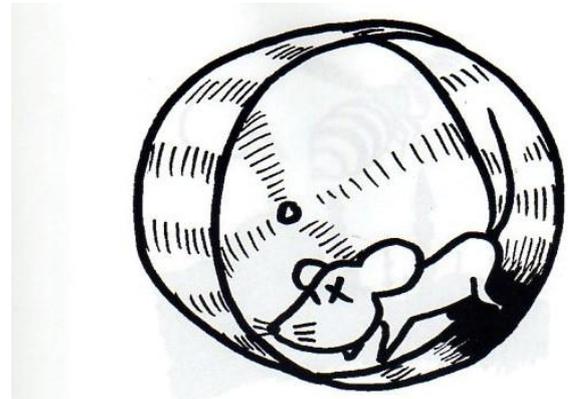


図6 回転ハツカネズミ
その6 何度も同じことを繰り返すくだい人（怪人名；回転ハツカネズミ）

どうか皆様は、この『教え方の極意』のシリーズを参考にされて素晴らしい成功人生をゲットしてください。

おわり

2019年4月15日号に続きます。
次回はアクション・ラーニングのツール、ナレッジ・ファシリテーション
についてお話しします。